



平成 28 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社クレストック
代表者名 代表取締役社長 高林 彰
(コード番号 7812)
問合せ先 取締役執行役員管理部長 三輪 雅人
電話番号 053-435-3553

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 2 月 10 日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 8 月 12 日に公表しました平成 28 年 6 月期通期連結業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 6 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,724	百万円 728	百万円 602	百万円 366	円 銭 112 円 97 銭
今回修正予想 (B)	15,724	580	484	213	65 円 91 銭
増 減 額 (B - A)	0	△148	△117	△152	
増 減 率 (%)	0.0%	△20.4%	△19.5%	△41.7%	
(参考) 前期連結実績 (平成 27 年 6 月期)	14,733	650	729	398	137 円 14 銭

2. 修正の理由について

連結売上高は既存取引の売上の減少を上回る新規取引の増加などにより、平成 27 年 8 月 12 日の「平成 27 年 6 月期 決算短信」で公表した通期の連結業績予想の修正はありません。

連結営業利益につきましては、フィリピンで梱包事業の売上増加に伴い大規模な倉庫設備の拡張を計画していましたが、顧客工場の近隣で新規に契約した倉庫の改装工事の認可が予定より遅れ、一時的な代替倉庫が近隣では見つからず、遠隔地に確保した倉庫との二重に地代家賃が発生したことに加え、遠隔地からのジャストインタイムでの納品対応のため輸送費用が予算を上回ったことなどにより当初計画より 37 百万円の営業利益の減少を見込んでいます。しかしながら、現在は既に認可を得ており、第 3 四半期には終息の方向に向かっていく見込みです。

中国では華東地区は医薬品分野での新規取引が順調に立ち上がったため営業利益は予想を上回る見込みとなりました。華南地区は既存の主要顧客の生産が当初想定以上に減少したことに加え、想定外の要因もいくつか重なり、結果、売上高減少となり営業赤字化が見込まれています。また、日用品分野での新規顧客の開拓も順調に進んでいるものの、その取引の立ち上がりには時間がかかり、第 2 四半期の営業赤字を下期で回復すべく

対応を進めておりますが、2月は春節（旧正月）の長期休暇もあり、取引の本格開始は3月以降となることが見込まれ、業績への寄与の本格化は第4四半期となる見込みで、通期の営業利益で98百万円減少の85百万円の営業損失の見込みとなりました。

国内では売上は増加を見込んでいますが、投資案件となる新規取引も多く、第2四半期には利益率のやや低い大型案件が売りが上がっており、また、退職給付に係る年金資産の減少により追加的に発生した退職給付費用などもあり営業利益で100百万円の減益を見込んでおります。上記の理由により連結営業利益は当初計画に対して148百万円減少（20.4%減）の580百万円に修正いたします。

連結経常利益につきましては、連結営業利益の減少により117百万円減少（19.5%減）の484百万円に修正いたします。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、アメリカ法人において費用が高水準で固定化する原因の一つであった事務所兼工場の賃貸借契約が予定通り第2四半期で終了したものの、若干の黒字を見込んでいた中国華南地区の子会社が赤字化したことなどにより152百万円減少（41.7%減）の213百万円に修正いたします。

※ 本資料に記載されている当社の業績予想は、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上